

## 令和3・4年度 文教厚生委員会活動報告書【中間報告】

### 1. 活動テーマ（重点調査事項）

- ・学校教育環境について  
（通学路の安全点検、学校備品、不登校の児童生徒、ICTを活用した授業、学校施設（校庭）の暗渠工事）
- ・新型コロナワクチン接種について

### 2. そのほか委員会で取り上げたいとして計画書に掲げた調査事項

- ・公立保育所から民間保育所への移行について
- ・（仮称）柴田町総合体育館建設の進捗状況について
- ・生涯学習施設の指定管理の状況について
- ・健康ポイント事業の改善について

### 3. 活動実績

#### ○所管事務調査

- 1) 令和3年4月21日（水）
  - ① 新型コロナワクチン接種会場の状況について（現地視察）
- 2) 令和3年5月12日（水）、14日（金）
  - ① 各課・所における事務事業の内容及び執行状況について
  - ② 今年度重点事業について
- 3) 令和3年6月22日（火）、23日（水）
  - ① 小中学校遊具等の安全点検状況について（現地調査）
- 4) 令和3年8月2日（金）
  - ① 小学校通学路（槻木小学校・東船岡小学校）の安全点検について（現地視察）
  - ② ICTを活用した授業の実施状況について
  - ③ 不登校の児童生徒の状況について
- 5) 令和3年10月6日（水）
  - ① 柴田町社会福祉協議会の活動状況について
  - ② 障害児通園施設むつみ学園の管理運営及び利用状況について
  - ③ 小規模保育事業所（カラーズふなおか園・くまの子）の概要及び活動状況について
- 6) 令和3年11月18日（木）、19日（金）
  - ① 小学校通学路（船岡小学校・西住小学校）の安全点検について（現地視察）
- 7) 令和4年1月26日（水）、27日（木）
  - ① 小学校通学路（船迫小学校・柴田小学校）の安全点検について（現地視察）
  - ② 地域学校協働活動推進員の活動状況について
  - ③ 柴田町地域包括支援センターの介護予防への取り組み状況について（行政視察）

※調査結果は別紙一覧表のとおり

#### ○団体懇談会 令和3年10月27日（水）

- ・対象団体：町内学校長会（各小学校校長）、柴田町教育委員会教育長 計7名
- ・懇談テーマ：各小学校通学路の安全確保の取り組みと課題について

### 4. 委員会としての現時点での成果及び次年度の方針

町内小学校の通学路の安全点検については、児童の視点で実施した結果、成果として出てきている。しかし、不足もあるため、次年度も継続してしっかりと調査を実施していく。

重点テーマである学校教育環境については、町内小学校校長との懇談会に続き町内中学校長とも実施し、意見交換をしたうえで提言に反映していきたい。

提言書の追跡や今年取り組めなかった調査事項については、次年度で所管事務調査・現地調査を行い確認していく。

## 文教厚生常任委員会 所管事務調査結果一覧表（令和3年度）

調査日	調査所管課	調査結果内容
4月21日（水）	健康推進課	特になし
5月12日（水） 14日（金）	福祉課	○ 地域住民が抱える課題が複雑化・複合化しており、障がい・高齢・生活困窮など分野別の支援体制では課題解決が難しくなっていることから、重層的な相談を受ける窓口の実現に向け調査・検討をされたい。
	スポーツ振興課	○ （仮称）柴田町総合体育館建設に当たっては、スケジュールに基づき決まった情報を、適宜、議会に報告するとともに、町民へ広く知らせること。
	子ども家庭課	特になし
	教育総務課	○ 日頃から遊具その他の点検などを定期的実施し、安全・安心な教育環境の整備の推進に努めること。 ○ 学校給食センターの改修工事に当たっては、業者と打ち合わせのうえ安全に留意し、夏休み期間中に完了するよう進めること。 ○ 情報教育の推進を図るためにも、教職員のスキルアップに努めること。
	健康推進課	○ 65歳以上の新型コロナワクチン接種に当たっては、円滑なワクチン接種に努め、令和3年7月末日までの接種完了に全力を挙げて取り組むこと。
6月22日（火） 23日（水）	生涯学習課	特になし
	教育総務課	町内の小中学校の遊具等の点検については、毎年、（一社）日本公園施設業協会が定める、遊具の安全に関する基準を準用し、有資格者により定期的に行われており、遊具等の管理台帳も整備されている。また、点検においての指摘については、修繕や撤去などの対応が概ねされているとともに、今年度からは、遊具等の対象外であった東屋や藤棚などを点検項目に加え、子どもたちの安全により配慮している様子が伺えた。 引き続き、点検を怠ることなく児童生徒の安全確保に努め、以下の点について留意されたい。 ○ サッカーゴールは、転倒防止のため固定金具でしっかりと固定し、傷んだ塗装やゴールネットは早急に修繕すること。 ○ 藤棚のある学校について、藤棚は地域からも親しまれていることから、今後の修繕にあたっては西住小学校の例により、防腐剤を施した木材で安全な修繕に努めること。 ○ 特に遊具等の周辺は、安全な利用のために除草を徹底すること。 ○ 中学校では、部活動で使用する備品や体育施設・設備の管理を徹底すること。

## 文教厚生常任委員会 所管事務調査結果一覧表（令和3年度）

8月2日（月）	教育総務課	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 四日市場山根地区からの通学路（町道四日市場 25 号線）においては、雨の日の水たまりがひどいため補修が必要である。また、視線誘導標（デリネーター）の欠損箇所があるため、児童の安全確保の観点からも、関係課と連携し復旧されたい。</li> <li>○ 四日市場字神明前の通学路（町道四日市場 9 号線）においては、児童の安全確保のため、見通しの悪くなっている木々を関係課等と連携して対処されたい。</li> <li>○ ICTを活用した授業の実施に当たっては、情報端末のセキュリティ管理を万全に行うこと。</li> <li>○ 不登校の児童生徒については、現状やその理由について十分に分析するなど努力をしている。しかしながら、不登校率は小学校で 1.67%、中学校で 6.23%と直近（令和元年度）県内平均の小学校 1.02%、中学校 5.1%と比べ依然として高くなっている。また、不登校の要因は、複合しているものが多くなっていることから、家庭、児童生徒及び学校等が連携して解決策の糸口を見いだされたい。</li> </ul>
10月6日（水）	福祉課	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 社会福祉協議会が防災福祉学習として行っている「いのちと暮らしを守る」ための学びや気づきを育む取り組みについては、評価できるため、今後も定期的に開催し事業を継続してほしい。</li> </ul>
	子ども家庭課	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ むつみ学園の管理運営については、以下の点が評価できる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>1 職員のスキルアップにしっかりと取り組んでいること</li> <li>2 運営面においても一人一人に向き合い、きめ細かな対応を行っていること</li> <li>3 昼食後に親同士の交流を行っているほか、子どもと親が離れた時間を設けるなど、子どもの自立に向けての取り組みを行っていること</li> </ul> </li> <li>○ 小規模保育事業所（カラースふなおか園、くまの子）では、理念を持ってコロナ対策や園庭の使い方、午睡の確認など安心安全な運営に努めている。</li> <li>○ 町は、小規模保育事業所などの保育士のスキルアップのため、地域型保育施設支援担当者を派遣した研修を持続させるとともに、町で開催する保育士の研修には、保育事業所も参加できるよう配慮されたい。</li> </ul>
11月18日（木） 19日（金）	教育総務課	<p>児童の登下校時間に合わせて、児童やスクールガードリーダー、見守り隊などから情報を得ながら、通学路の安全点検を児童の視点から実施した。その結果、児童の安全対策の観点から、以下の点について関係機関等と協議、連携し改善を図</p>

文教厚生常任委員会 所管事務調査結果一覧表（令和3年度）

		<p>られたい。</p> <p>(1) 船岡小学校</p> <p>①町道船岡東21号線終点の交差点付近の縁石が破損している。補修または車線分離標等の設置をされたい。</p> <p>②町道船岡東34号線及び町道船岡東29号線については、歩道がなく道幅も狭いため、児童がどちら側を歩いたら良いか迷っている。町道船岡東29号線に当たっては、スピードを出す車も多いことから、路側帯を視覚的にドライバーに認識させるためにも、グリーンベルトの設置について検討されたい。</p> <p>③船岡中学校北東及び町道船岡東14号線終点の交差点については、交通量が多くスピードを出す車も多い。児童やスクールガードリーダーからも危険との声も出ている。早い段階で交差点であることを認識させ注意を促すためにも、カラー交差点への対応を検討されたい。また、船岡中学校北東の交差点では、側溝の終端部分で段差が生じており、児童が転びそうになったとの声があった。止まれの路面標示は、すでに消えかけており対応が急がれる。</p> <p>④船岡中学校南東のカラー交差点内には、大きくくぼみや段差が生じている。車のハンドルも取られ児童の安全確保に支障をきたす恐れがあることから対処されたい。</p> <p>(2) 西住小学校</p> <p>①町道大住1号線では、町道大住8号線との交差点付近のU字溝開口部に児童が落ちる事故が発生している。また、小学校前についてもU字溝に蓋がされていない状況となっていることから、対応が必要と考える。</p> <p>②町道大住1号線は30kmの速度規制がされているが、スピードを出して通過する車両が散見される。学校前の道路であり、登下校時間に当たっては児童が多く歩道がないことから、運転手に対して注意を促す観点からグリーンベルト及びスクールゾーンの標示などの整備が必要と考える。</p> <p>③町道西住7号線の終点及び町道清住11号線の起点に当たる交差点については、児童が横断する交差点となっている。ドライバーに交差点であることを早い段階で認識させ注意を促すためにも、カラー交差点の対策を講じていただきたい。</p> <p>(3) 2校共通</p> <p>①防犯灯については、古いものや数が少ない場所（特に、</p>
--	--	---

文教厚生常任委員会 所管事務調査結果一覧表（令和3年度）

		町道船岡東20号線及び町道西住7号線)があった。このことから、LED化の促進と新たな防犯灯の設置が必要と考える。
1月26日(水) 27日(木)	教育総務課	<p>児童の登校時間に合わせて、通学路の安全点検を児童の視点から実施した。その結果、児童の安全対策の観点から、以下の点について関係機関等と協議、連携し改善を図られたい。</p> <p>(1) 船迫小学校</p> <p>①船迫1号地下道については、横断している側溝のグレーチングにガタつきがあるため、確認のうえ対処されたい。</p> <p>②船迫2号地下道については、カーブミラーの視認性が悪くなっているため、付け替えや調整が必要と思われる。</p> <p>③町道西船迫103号線と町道北船岡31号線の交差点及び船迫生涯学習センター角の交差点については、車両の通行が多い場所である。ドライバーのマナー向上と注意喚起の必要性からも安全対策について検討されたい。</p> <p>④船迫生涯学習センター角の交差点のアパート前歩道については、段差が生じていることから、確認のうえ対処されたい。</p> <p>(2) 柴田小学校</p> <p>①町道入間田10号線と町道入間田11号の交差点付近では、関根堀川沿いの幅員が狭くなっている。車両とのすれ違い時（特に降雪時）堀に児童が落ちる危険性があることから、時間帯通行規制について検討・協議されたい。</p> <p>②町道入間田51号線の横断歩道のある真中橋交差点では、スピードを出す車両が多く、歩行者が手を挙げていても一時停止しない状況である。登下校の時間帯に警察による指導取締りの協力を得るなど、安全確保に努めていただきたい。また、ドライバーに注意を促すためにも、注意看板等を設置するなど検討されたい。</p>
	福祉課	○ 地域包括支援センターの包括的支援事業については、総合相談支援の相談件数が年々増加しており、今後も増加が見込まれることから、地域包括支援センターと意見交換し業務の負担軽減について対応されたい。
	生涯学習課	○ 地域学校共同活動推進員の活動については、しっかりと学校と連携して事業に取り組んでいる。今後も学校の実情に合わせた提案を継続してほしい。